

# NORTHERN CARPORT

ノーザンカーポート

## 取扱説明書



お使いになる前に、必ずこの  
取扱説明書をお読みください。

おかげさまで  
北の大地に100年  
創業1909年



21世紀もベストアグリパートナー



東洋農機株式会社

# はじめに

---

## ▶ ご使用にあたって

このたびは、ノーザンカーポートをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は、正しい使用方法やお手入れ方法を説明しています。安全に末永くご愛用いただくために、ご使用前には必ずお読みください。また、保証書と共に大切に保管してください。

## ▶ 警告用語についての説明

警告用語	説明
⚠ 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるもの、または、本体に重大な破損をまねくおそれのあるものを示します。

## ▶ お客様メモ

---

---

---

---

---

---

---

# 目 次

---



⚠ 警 告 ..... P2

⚠ 注 意 ..... P3

お 願 い ..... P4

お手入れ方法 ..... P5

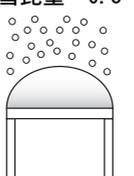
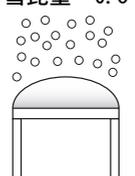
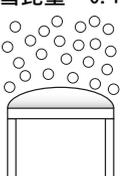


# 警告



## 使用上の警告

- 屋根の上に物を載せないでください。
- 屋根に乗ったり、柱に登ったり、ぶらさがったりしないでください。
- 分解・改造をしないでください。
- 当社指定のオプション品以外は取り付けしないでください。
- ボルト・ナット・ねじ類などは絶対にゆるめないでください。
- 屋根の積雪は、早めに雪降ろしをしてください。
  - ・ 型式により強度が異なりますので、下の表で確認してください。
  - ・ 雪の重さは、雪の状態により大きく変化します。特に春先の雪は重たく、湿った雪や雨降りの後などは、新雪に比べ3倍位の重さになります。
- 雪降ろしの際、絶対に水をかけないでください。雪が氷状になり、さらに重くなります。

雪の種類		
新雪	しまり ゆき 締雪	ざらめ ゆき 粗目雪
・ 新しく降った粉状の雪。  雪比重 0.3  	・ 水分を含んだやや重い雪。 ・ 降り積もって圧縮された雪。  雪比重 0.5  	・ 水分を含んで凍っていて粒の大きな雪。  雪比重 0.7  

型式	安心してお使いいただける積雪量の目安		
TP540	約100cm	約60cm	約42cm
TP560・SD560	約130cm	約78cm	約55cm
AP280 ・TP270 ・SD270 AP280M ・TP540H・SD560H AP280Z ・TP560H・SD750H AP280MZ・TP750H AP520 ・TP750H300 AP520M AP520Z AP520MZ AP760 AP760M AP760H300	約150cm	約90cm	約64cm



警告



## 注 意

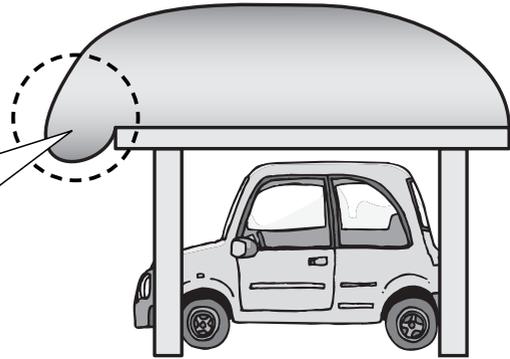


### せっぴ 雪庇について

- <sup>せっぴ</sup>雪庇については、製品破損のおそれがありますので、お早めに取り除いてください。

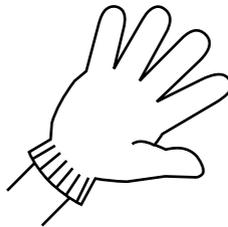
雪庇は、お早めに  
取り除いてください。

- ・雪庇が落下して、ケガをするおそれがあります。
- ・破風、雨樋を破損するおそれがあります。



### 雨樋清掃について

- 雨樋清掃の際は、必ず手袋をして行ってください。バリなどでケガをするおそれがあります。



手袋着用

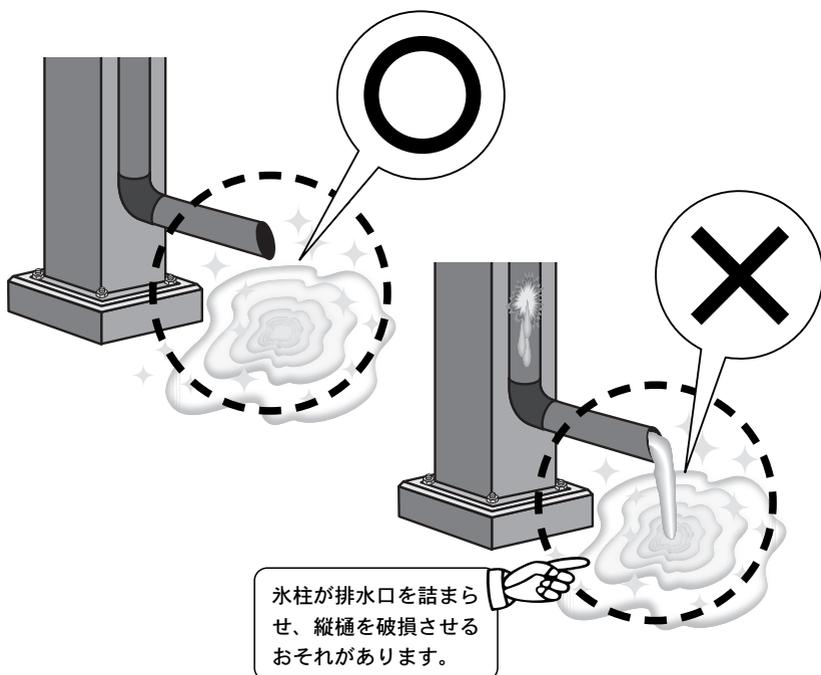


注  
意

# お願い

## 冬期間の保守について

- 雪降ろしは、プラスチック製のスコップなどで静かに行ってください。金属製のスコップなどを使用すると、製品を傷つけたりする原因になります。
- 雪降ろしをする際には10cm～15cm程度雪を残したほうが良いでしょう。雪を全て降ろしてしまうと結露しやすくなります。
- カーポートまわりに塩化カルシウム（凍結防止剤）を散布しないでください。サビの原因になります。
- 柱まわりの除雪を行ってください。雪に埋めれるとサビの原因になります。
- 冬期間は、縦樋が凍結により破損のおそれがありますので、排水口を詰まらせないでください。排水口まわりの雪、氷柱は必ず取り除いてください。



# お手入れ方法

## 清掃

カーポートの表面に、汚れを付着したまま放置しますと、塗装表面を痛めますので、定期的に清掃してください。

### ●汚れが軽い場合

- ・濡れた布などで拭き取った後、乾いたやわらかい布で拭いてください。

### ●汚れがひどい場合

- ・水で汚れを洗い落としてください。
- ・水洗いで落ちない汚れは、洗車ブラシなどで洗い落とし、表面に汚れが残らないように、十分に水洗いをしてください。
- ・梁の上部には、ほこり・塩分などが付着していることも考えられるので、十分に水洗いをしてください。
- ・乾いたやわらかい布で、水分を拭き取ってください。

### ●清掃上の注意

- ・洗剤は使用しないでください。サビや変色の原因になります。
- ・水洗いの際、金属たわしやワイヤブラシなど、塗装表面に傷をつけるおそれのあるものは、使用しないでください。表面が傷つき、サビの原因になります。

### ●末永くご愛用していただくために

- ・清掃後、乾燥した状態で車用のワックスで、ワックス掛けを行うことにより、塗装表面が保護されます。その場合コンパウンド入りのワックスは使用しないでください。

〈清掃回数を目安〉（1年あたりの回数）

環 境	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
回 数	1～4	1～3	0.5～2	0.5～1



**東洋農機株式会社 エクステリア事業部**

本 社 /

〒080-2462 帯広市西22条北1丁目2番5号  
TEL0155-37-3191・FAX0155-37-5399

札幌事務所 /

〒003-0838 札幌市白石区北郷8条4丁目2-10  
TEL011-879-1211・FAX011-879-1311

ホームページ <http://www.toyonoki.co.jp>